



好学愛知
自律敬愛
質実剛健

鶴丸イ言



7・8月の行事予定

月	日	曜	行事等	校時	時間割 変更等	学食
7	14	火	中掃除 SL(A)	午後 10分遅		○
7	15	水	SC来校(保先生 13:30~17:30)			○
7	16	木				○
7	17	金	通番引継会 SL(B)			○
7	18	土				×
7	19	日				×
7	20	月	海の日			×
7	21	火	夏季修学講座 心身蘇生法講習会(生徒 15:10~16:40文化館2階)			○
7	22	水	夏季修学講座			○
7	23	木	夏季修学講座 SC来校(大島先生 13:30~ 16:30)			○
7	24	金	夏季修学講座 1年GO観セミナー(10:00~ 11:50)			○
7	25	土	全統マーク(3年)			×
7	26	日	全統マーク(3年)			×
7	27	月	夏季修学講座 SC来校(保先生 13:30~ 17:30)			×
7	28	火	夏季修学講座			×
7	29	水	夏季修学講座終了(1・2年) 体験入学設営(4階後)			×
7	30	木	夏季修学講座(3年 午前) 中学生一日体験入学(午後)			×
7	31	金	夏季修学講座(3年 午前) 中学生一日体験入学(午後)			×

月	日	曜	行事等	校時	時間割 変更等	学食
8	1	土				×
8	2	日				×
8	3	月				×
8	4	火				×
8	5	水				×
8	6	木	SC来校(大島先生 13:30~16:30)			×
8	7	金				×
8	8	土				×
8	9	日				×
8	10	月				×
8	11	火	山の日			×
8	12	水	学校閉庁 第49回定期演奏会(14:00~ 16:10 宝山ホール)			×
8	13	木	学校閉庁			×
8	14	金	学校閉庁			×
8	15	土				×
8	16	日				×
8	17	月	部活動中止(8/25(火)まで)			×
8	18	火	授業開始 実力考査時間割発表 学校安全 の日 SL(A) SC来校(保先生 13:30~17:30)			○
8	19	水				○
8	20	木	SC来校(大島先生 13:30~16:30)			○
8	21	金	通番引継会 SL(B)	65分		○
8	22	土				×
8	23	日				×
8	24	月	実力考査(1日目)		考査	×
8	25	火	実力考査(2日目)		考査	×
8	26	水	実力考査(3日目)		考査	○
8	27	木				○
8	28	金	通番引継会 SL(C) 中掃除	午後 10分遅		○
8	29	土				○
8	30	日				○
8	31	月	全校朝会⑤	5分遅		○

↑発行時の予定です。
変更に注意してください。

志を高く、未来を拓く3日間 2学年主任 西元晃一郎

今年度の2学年修学旅行は、6月17日から19日までの2泊3日で実施された。例年心配される梅雨の時期ではあったが、幸いにも好天に恵まれ、行程を順調に進めることができた。多少の体調不良者は出たものの、参加した生徒たちにとっては極めて実り多き3日間となった。

修学旅行の幕開けとなった出発日の鹿児島空港では、鶴丸生を奮い立たせる素晴らしいサプライズが用意されていた。東京行きのJAL便に、本校の卒業生である機長や副操縦士、客室乗務員の方々が同乗してくださったのである。搭乗ゲート前で行われたセレモニーでは、同じ「鶴丸マーク」であるJALロゴと校章を掲げて記念撮影を行い、大先輩方の生き生きとした姿に、これから始まる旅への期待が一気に高まった。

羽田空港に到着後、一行は最初の目的地である鎌倉へと向かった。現地に到着して昼食を取った後、高德院の厳かな大仏の前でクラスごとの記念撮影を行い、古都の歴史の重みを肌で感じた。今回の研修は、昨年度まで実施されていた劇団四季の観劇に代わり、以前行われていた鎌倉・江ノ島のクラス別研修へと内容を変更してのスタートとなった。写真撮影の後は、各クラスで事前訪問先を主体的に決定したルートに分かれた。「自分たちだけで計画し、行動することの大変さとしき、鹿児島とは全く違う都心部での生活を学んだ」、「鎌倉で日本の歴史などについて触れる機会がありとても良かった」など、それぞれの特色が色濃く出た研修となった。その後、夕食は横浜中華街で本場の味を満喫し、宿泊先へと移動した。

2日目の午前中は、本校の修学旅行の大きな柱である「GO鶴セミナー(OG・OG

の企業訪問)」が実施された。今年度も32もの事業所のご賛同をいただき、業界の最前線で活躍される先輩方から直接お話を伺うという、学校の授業だけでは得られない貴重な経験を積むことができた。生徒からは「首都圏で働く先輩方の姿を間近に見て、社会に貢献されている先輩方は素晴らしいと思った。将来自分が社会人になった際には、GO鶴セミナーで先輩方から学んだことを活かしたい」、「仕事内容だけでなく、どうして勉強をするのか、大学の選び方など、私達の生活にそのまま活かせることを教えてください」などの声が上がった。忘れてはいけない「多岐の声」が上がり、極めて学びの多い研修となった。午後からは東京ディズニーシーを訪問した。パーク内やホテルで見た生徒たちの弾けるような笑顔から、特別な時間を全力で楽しんでいる様子がうかがえた。

最終日は、東京大学訪問と東京自主散策が行われた。東京大学では3つの講座に分かれて最先端の講義を受講した後、現役東大生のOG・OGとの座談会に臨んだ。予定時間をオーバーするほど活発な質疑応答や意見交換が交わされ、生徒たちの意識の高さが改めて浮き彫りとなった。「東大の先輩方や教授の考え方や生き方が非常にカッコよくて、自分の理想の人物像が前より明確になった気がする。今からでも難関大学は目指せると信じて、必死に努力していきたい」など、前向きな感想が多く聞かれた。その後、グループ毎に東京自主散策へと向かった。また、今回の修学旅行では新たな試みとして、最終日の集合場所を従来のお台場から羽田空港への直接集合へと変更した。慣れない土地での移動であったが、ほぼ全ての生徒が時間通りに集合し、先を見通した集団行動の質の高さを見せてくれた。

わずか2泊3日の旅路ではあったが、クラス

も二回りも大きく成長した。事後アンケートには、「進路実現のための必要な努力に気づいた。また保護者や先生、友だちへの感謝の気持ちを改めて実感できた。これからはより周囲の人に積極的に感謝の気持ちを伝えながら、進路のために日々目の前のことに全力で取り組みたい」という周囲への感謝の思いや、「事前準備と計画性の大切さ、そして自分はまだまだ井の中の蛙に過ぎなかったのだと学んだ。この学びを思い出の中にとどめることなく、日々の生活に浸透させていきたい」といった、自己を見つめ直す決意の言葉が寄せられた。今回の貴重な経験は、今後の高校生活やそれぞれの進路選択において、進むべき道を照らす大きな道標となるはずである。

最後に、多大なご負担の中で受け入れの調整をしてくださった東京鶴丸会の皆様、東京大学の先生方や学生の皆様、きめ細やかにサポートしてくださったJTBの担当者様、副担任の先生方、そして温かく送り出してくださった保護者の皆様をはじめ、この修学旅行の成功を陰で支えてくださったすべての関係者の皆様に、心より感謝を申し上げます。



前期クラスマッチ

選手・役員の汗光る

7月2日(木)3日(金)の2日間にわたり、前期クラスマッチが開催されました。天候判断やグラウンド整備など生徒会役員と係、部活動の生徒が臨機応変に対応し、全校生徒が各競技に全力で取り組み、爽やかな汗を流していました。また、今回は熱中症対策として競技の分散化を図ることとケガ等で運動ができない生徒もいることから「文化的競技」としてオセロを実施しました。

男子バレーでは教職員チームがエキシビジョンマッチに登場しました。生徒チームが見事に勝利しました。

各競技の結果は左記の通りです。

男子バレー
1位34R 2位36R 3位38R
男子バスケット
1位22R 2位16R 3位28R
サッカー
1位37R 2位31R 3位34R
卓球
1位27R 2位33R 3位35R
文化的競技
1位26R 2位38R 3位18R
総合
1位31R 2位34R 3位22R



総合的な探究の時間 研究発表会

7月1日(水)、学年選考で選ばれた3年生4人による総合的な探究の時間の研究発表を行いました。リサーチクエスチョンを立て、数的根拠や実験を行った結果を基に考察された非常に面白い研究でした。1、2年生への素晴らしい見本となりました。

1・2学年進路講演会

正解のない未来へ

1学年・2学年の進路講演会がそれぞれ実施されました。

1学年は7月6日(月)、講師に毛利美佳先生(学校法人河合塾西日本営業部長)をお迎えし、「文理選択で未来は変わる夢の実現に向けて」をテーマに御講演をいただきました。

2学年は7月13日(月)、講師に加藤泰浩先生(東京大学工学部システム創成学科教授)をお迎えし、「みんな未来を拓いていこう」をテーマに御講演をいただきました。

おきおんさあ灯籠展示

7月3日(金)5日(日)に開催された、鹿児島県の夏の風物詩「おきおんさあ」会場となった天文館電通通りのアーケードには、各高校の美術部と書道部が制作した灯籠が飾られ、お祭りの雰囲気を感じることができました。

